

うえだ オレンジベスト 見守り情報

上田市少年育成センター 通信

上田市教育委員会生涯学習・文化財課 上田市 大手 1-11-16 上田市役所南庁舎 電話:23-6375 FAX:23-6368 令和8年1月10日 R7-5号

年頭にあたり

上田市少年育成センター 所長 佐藤文昭

あけましておめでとうございます。

上田市こども安全安心見守り委員の皆様には、日ごろより青少年の健全な育成、とりわけ街頭補導や環境チェック活動にご尽力いただき、心より感謝申し上げます。

1 新年を迎えて

午年となる本年、皆様はどのようにお迎えでしょうか。この1月11日には「二十歳を祝う式」が開催されました。1,402人の皆さんがあなたの輝かしい門出を迎えられ、時を同じくして、上田市も誕生20周年を迎え、特に記念に残る式となりました。式典では二十歳を迎えた方の代表から「誓いの言葉」が述べられ、社会を担っていく若者に大きな期待と希望を抱くことができました。皆さんの今後のさらなるご活躍を祈念いたします。

2 こども安全安心見守り委員について

「上田市こども安全安心見守り委員」は、子どもたちが犯罪に巻き込まれることを防ぐと同時に、非行防止のため活動しています。昨年名称変更し、皆様はその初めての「見守り委員」としてご尽力いただいております。

近年「子どもたちを外で見なくなった」と言われていますが、オンラインの世界でトラブルに巻き込まれる事案が後を絶たないことも事実です。このような中、皆様には子どもたちに声をかけ、成長を見守る「地域の目」としての大きな役割があります。

昨年、児童への盗撮があり、学校の依頼で下校時の見守りが行われました。また、声かけ事案にあった高校生から「オレンジベストのおじさんがいるので安心」との励ましの声があったとの報告もありました。こうした実績が認められ、子ども・若者育成支援功労者として、本委員会の宮下会長が県知事表彰を受けました。改めて、皆様の子どもたちの安全を守る大人の目としての役割を果たしていることを認識するとともに、深く感謝申し上げます。

3 むすびに

本委員会は、取組内容や組織の見直しを行いながら、委員皆様の協力を得て活動しております。活動を続けるには様々な課題もありますが、今後も継続して見守り活動ができるよう努めてまいりますので、青少年の健全育成活動へより一層ご理解ご協力いただきますようお願い申し上げます。人間万事塞翁が馬、何事にも前向きに取り組める一年になりますように。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

おめでとうございます

長野県知事表彰

宮下 幸良さん（上田市小井田地区）

上田市こども安全安心見守り委員歴30年



長年にわたり青少年の健全育成に貢献された功績により、長野県知事から11月8日(土)岡谷市で開催された長野県青少年健全育成県民大会において、表彰されました。おめでとうございます。

大会の内容は次頁に掲載します

令和7年度「伸びよう 伸ばそう 青少年」「青少年は地域社会からはぐくむ」

長野県青少年健全育成県民大会

11月8日(土) 岡谷市文化会館カノラホール

～「こどもまんなかアクション」リレーシンポジウム in 信州～

主催 長野県子ども・若者育成支援推進本部 長野県将来世代応援県民会議

岡谷市 岡谷市教育委員会



11月8日(土)に上田市子ども育成連絡協議会・こども安全安心見守り委員会有志の皆さん12名の参加をいただき、岡谷市で開催された「長野県青少年健全育成県民大会」へ参加させていただきました。日頃から、青少年の健全育成に取り組む我々が研修を深めることにより、さらなる発展が得られるようにしたいと考えさせられました。また、当日、本会の宮下幸良会長が30年にわたる少年補導委員会活動が認められ、県知事賞を受賞されました。私達にとりましても、喜ばしい出来事がありました。この大会は、国の「こどもまんなかアクション」事業のリレーシンポジウムとして開催されました。

令和7年度「少年の主張長野県大会」長野県知事賞受賞作品 発表

「命が咲く社会へ」サミットアカデミーセカンダリースクール長野 2年 荒井 彩香さん発表から

(長野県大会について掲載されています)

URL:<http://www.himawari-nagano.net/syonen-claim.html>



阪神淡路大震災で被災したはるかちゃんがいた場所に咲いたひまわり、その種が引き継がれ、全国でひまわりを咲せている運動がある。彩香さんは、ひまわりの命が受け継がれていく「はるかなひまわりプロジェクト」に感動した。小4で受けた「いじめ」を自身ではるかちゃんの生きる事への無念さと比べ乗り越え、「生きることのすば



らしさ」を掴みとった。「はるかちゃんのひまわり」のように勇気や生きる希望を与えられる自分になりたいと考えるようになる。

彩香さんは、「大きなことをやらなくていい。誰かに優しくする。困っている人を見たら、声を掛けたり、手助けする勇気を出す。自分自身の命を大切に生きる。などをやっていきたい。そして、命を大切にする世代を作っていくたい。生きることを前向きに語る社会にしたい。」と訴え、「生きることを諦めない」と力強く発表をしてくれた。

現状報告 「子どもは子どもの中で育つ」～岡谷市リーダーズ倶楽部とは～

岡谷市リーダーズ倶楽部スタッフ 宮澤 雅光 氏

◆岡谷市リーダーズ倶楽部の概要

「子どもの手による子ども会」を目指す岡谷市子ども育成会連絡協議会の呼びかけて集まった中学生から高校生有志で構成される。主に、わんぱくアドベンチャー・通学合宿などの企画・運営を子どもの手で行い、参加した研修生(児童生徒)に楽しんでもらうため、レクリエーション

の勉強会や研修を行っている。この他、他の地区的リーダーズとの交流会や県外施設での交流研修を行い、個々の資質向上のための研修を長年行ってきたが、新型コロナウィルス感染症の感染拡大により、活動が行えないなかで、会長以下スタッフの思いで繋げてきている。

講演 「こども基本法と子どもの権利」

こども家庭庁支援局虐待防止対策課 課長 野中祥子 氏

こども家庭庁が令和5年4月に新しく設置され、こどもや若者の視点に立った、こどもに関する取組全体の推進を行っています。すべての子どもの育ちをサポートし、特に支援の必要な子どものサポートも行っています。

こども家庭庁のスローガンは、「こどもまんなか社会」の実現です。講演の中で「こどもまんなか社会」とは、何かを語り、「子どもの権利」と「こども基本法」についてお話をされました。

「こどもまんなか社会」とは、こどもと大人がいっしょになって社会を創造していくことすることである。私達はこどもは共創のパートナーであると考えていくことが大切であるというお話をでした。

すべての子どもは、生まれながらにして「子どもの権利」を持っています。それは、「こどもが幸せに健やかに成長していくために必要なもの」です。子どもの権利を考えるときに、「差別のないこ



と」「命を守られ成長できるこどもにとって最もよいこと」「意見を表明し参加できること」4つの考え方を大切にして子どもの権利を考えていきます。

「こどもまんなかアクション」として社会全体でこどもや子育ての方々を応援していくことという取り組みを広げていこうと呼びかけていただきました。

こども安全安心見守り委員の活動紹介④

少年育成センター活動 A 10月27日(月) <シネマクラブ・おけまーるジュニアセンター>

今年度3回目の活動は、子どもの居場所として、多様な環境を整えて、青少年の成長・発達を支援する「フリースクール」について、上田市内の2施設を訪問して青少年の理解を深めました。具体的には、上田映劇・トラウムライゼ「子どもシネマクラブ」、「おけまーるジュニアセンター」の訪問・巡回を、塩川・長瀬・依田・特別地区の(代表)委員さんに協力をいただき実施しました。

○子どもシネマクラブでは、「映画を声で表現する」活動に取り組んでいました。シネマクラブのみんなと作った映画

「うえだのまなざし」を見ながら、ナレーションをどのようにしていいかをデスカッションする場面を参観させていただきました。皆さん、効果を出すナレーションを考える姿に圧倒されました。

○おけまーるジュニアセンターは、居場所支援型のフリースクールでした。多様性を学んだり、安心して居ることのできる場所をいかにつくるかを工夫していることを(代表)小林さんからお聞きしました。居場所として大勢の子どもたちが元気に活動をしていました。この場所で、安心感を充電し、自らの成長を求めていけるように活動したいと小林さんは抱負を語ってくださいました。



～～上田市の輝くこどもたち～～

青少年 善行 表彰式・「家庭の日」の作文表彰式

11月23日(日)、上田創造館文化ホールにおいて、土屋陽一 市長、酒井秀樹 教育長が出席し、表彰式を行いました。青少年善行表彰は個人1名・2団体、「家庭の日」の作文は 優秀賞5名・優良賞18名が表彰され、市長・教育長から温かな激励の言葉が



おくられました。「家庭の日」の優秀賞作文として、当日代表して朗読された作品と善行表彰の皆さんの活動を紹介します。



家庭の日の作文

家族にありがとう
東小学校 五年 吉田 一喜(いつき)

ほくの家族は、ほくとお父さんとお母さんの三人家族です。ほくには、兄弟がないけどお父さんとお母さんをいつもひとりじめに出来るのでとってもうれしいです。お父さんとお母さんは、毎日お仕事と家の事を協力し合いながらやっています。ほくのお母さんは、おじいちゃんやおばあちゃんのお世話をします。日々夜きちんと夕飯を作つたりしています。ほくもちょっとしたものなら作れるようになりました。ほくのお母さんは、とってもご飯を作るのが上手です。ほくは、お母さんの作るご飯がとても美味しいくてとっても大好きです。ほくも美味しいご飯を作りたくてお母さんのお手伝いをしています。でもなかなか上手に作れません。お母さんに作り方を教えてもらうと決まって言うのが「そんなのできとうよ」と笑つて言います。ときどくに作つていると言われてほくは、こまつてしまいまして。そんなこまつた顔をしたほくを見てお母さんは、笑つています。でもなかなか上手に作れません。お母さんに作り方を教えてもらつと決まって言うのが「そんなのできとうよ」と笑つて言います。ときどくに作つているとと言われてほくは、こまつてしまいまして。そんなこまつた顔をしたほくを見てお母さんは、笑つています。いつもニコニコ笑顔のお父さんとお母さんだけど時々ニコニコ笑顔がオニのような顔になりほくをしかります。それは、ほくがお父さんやお母さんが家の事をやってくれる事を当たり前に思つてしまい、「ありがとう」と言う気持ちをわすれています。ご飯を作つてくれる事そぞじをしてくれる事せんたくをしてくれる事。大変な事だと分かつていてるのに毎日の事だからつい当たり前に思つてしまいお父さんとお母さんをおこらせてしました。当たり前では、当たり前な事「ありがとう」と言つた。お父さんとお母さんがしてほしい事がないか聞いてきた。お父さんとお母さんと一緒に伝えていました。それからぼくにも出来ることをきがしたりお父さんとお母さんがしてほしい事がないか聞いてきた。これからぼくは、どんな当たり前な事でも「ありがとう」と感謝の気持ちをちゃんとと言葉やたいどに表してお父さんとお母さんとお母さんとに伝えるようにしてきます。それからぼくにも出来ることをきがしたりお父さんとお母さんがしてほしい事がないか聞いてきた。これからぼくは、ぼくのじまんの家族です。「お父さんお母さん大好きだよ」これからも毎日楽しく笑顔でいようね。

善行表彰の皆さん

アンモールさん

令和6年7月上旬、パキスタンから菅平中学校に1年と3年の兄弟2名の転入生を受け入れることとなり、保護者から「日本の生活に慣れコミュニケーションをとれるようにしてほしい」との要望があった。しかし、兄弟は多少英語が理解できるものの、日本語は全く理解できず、授業への参加は難しい状態であり、週1回、教育委員会から日本語指導教員の派遣を受けたが、生活に馴染むまで2人は苦労すると予想された。

そのような折、同校卒業生でパキスタンから中学2年時に来日し、同じ経験をしたアンモールさんに相談をしたところ、毎週1回、学習補助や日本語指導などの支援を快く引き受けてくれた。

学習面だけでなく、日常生活や友人関係などの不安にも寄り添い、同じ苦労を味わった本人にしかできない親身な関わりで転入生を精神面で

も支えた。兄は昨年3月に卒業するまでの間、弟は令和7年夏に転校するまでの間、支援を継続した。



丸子修学館高等学校 社会福祉部

「社会福祉部」は、丸子修学館高校の部活動の一つとして丸子地域内外で活動している。主な活動としては、高齢者施設に出向きハンドマッサージ等を通じての交流や、丸子地域を中心に行われるイベントに参加しハンドマッサージや缶バッヂ作成を参加者のために行つた。

高齢者施設「ベルポート丸子」では1か月間に1度程度のペースで訪問し利用者との交流を実施。このほか、塩田地区や丸子地区で高齢者向けのスマート教室やゲーム「太鼓の達人」、アルクマ体操など様々なメニューで活動を行っている。

2025年3月からは、神科まちづくり委員会を中心になって活動している子ども食堂「神っ子食堂」の活動に参加。月1回開催される「神っ子食堂」で、子どもたちとの交流を中心に活動を行っている。7月の夏祭りでは、運営者の一員として地域住民と一緒に活動を盛り上げた。最近では参加する子どもたちの保護者とも顔見知りとなり「たくさん遊んでくれてありがとう」と声をかけられるようになった。

今後もクリスマスや餅つき会などのイベント企画にも参加し、子どもたちの居場所づくりに関わっていく予定である。



上田西高等学校生徒有志 丸子修学館高等学校生徒有志

上田東高等学校生徒有志 (わマルシェ実行委員会)

上田西高校、上田東高校、丸子修学館高校の市内3校の生徒有志が、学校の枠を超えてつながり、能登半島地震・豪雨災害復興支援のために、上田駅前広場を会場に復興支援マルシェを令和7年3月20日に開催した。

令和6年2月に行われた上田市内5校（上田西高・上田千曲高・上田高・上田染谷丘高・上田東高）の生徒会による駅前募金が行われたことを知る下級生が、先輩の活動を発展させた活動にしたいとの思いから「上田駅前復興支援マルシェ（仮称）」という形で被災地支援を行えないかという話に発展し、令和6年11月に3校の生徒有志に呼びかけ、計画づくりを開始。令和7年2月に「わマルシェ実行委員会」を立ち上げた。能登半島の現地から関係者を招聘したトークセッションを行い、現地の状況を市民と共有し、出張輪島朝市をはじめとする物販による経済復興や、防災体験コーナーを設けることによる市民への啓発事業など、経済的な循環による復興支援や防災意識の向上を切り口として、高校生が中心となり地域の団体や関係者に声をかけ、市民や地域を巻き込んだ復興支援イベントを成功させた。同じ志を持つ高校生どうしが学校の枠を越えてつながり、社会課題を解決しようという使命感を持って一致協力して行った活動である。



こども安心安心見守り委員の活動紹介⑤ 少年育成センター活動A

11月14日(木) <まちなかキャンパスうえだ・カラオケジョイサウンド・市街地>

今年度4回目の活動は、地域と学生の連携拠点「まちなかキャンパスうえだ」（通称まちキャン）、中心市街地の「カラオケ JOYSOUND 上田店」、高校生下校時間帯の繁華街

「袋町」の訪問・巡回を、豊殿・東塩田・特別地区の（代表）委員さんに協力をいただき実施しました。

○**まちキャン**では、海野町商店街で「わくわく夏まつり」に取り組む上田短期大学のボランティアチームの2名の学生さんに、活動を発表していただきました。2人は、わくわくする場所をどのように作ったら良いかを考え、時間、空間、仲間という視点で工夫をしていました。幼稚園の遊びの場づくりを参考に、笑顔が出る遊びで、表現活動につながる活動ができるようにしました。輪投げ、金魚すくいなどをつくり、夏祭りで実践しました。

○**ジョイサウンド**は、街中に有る（老舗の）カラオケ店です。店長さんから未成年者への対応やお店のシステム等をうかがい、パーティールームを含め、複数の部屋と店内を案内していただきました。引き続き青少年の見守りと適切な対応をお願いしました。

○日没直前の**袋町**の巡回を行いました。染谷丘高校の帰宅を急ぐ高校生に何人かに声掛けをしました。変化の大きい大工町の利用しなくなった店舗まわりには、人目につきにくい場所があることや街灯が少ないとなどが目に付きました。女子高生がひとりで歩く姿もありました。学校・自治会と情報交換をしながら、市民の目で安全安心に取り組みたいと思います。

オレンジベスト見守り情報 かわら版

各地区での見守り活動の様子

こども安全安心見守り委員の皆さん、いつも活動にご協力いただきありがとうございます。1月号から各地区での見守り委員の皆さんの活動状況を順次ご紹介します。

【東部地区 A・B 班】

★5/20(AB班合同) 子ども達は元気に挨拶してくれました。1年生に子は、まだ大人しい感じです。オレンジベストを見て「おじさんこれ何?」と興味を持ってくれました。学校の前まで送ってくれるお母さんの姿も、何人か見られました。

【南部地区 A 班】

★12/11(A 班)少し暖かく助かりました。アリオの映画館駐輪場にて、暴走族と見られる少年が1人(1台)でバイクに乗ってきましたので、曲がっているナンバープレートを直してもらひ「事故に気を付けるよう」言って別れました。10代の男子でしたが、事故等に遭わないよう願います。

【西部地区 A 班】

★7/7(A 班)

ファミリーマート常磐城店(西小近く)に小学生・中学生がどのように買い物に来るのかお話を聞きに行きました。
お金をたくさん持ってくる児童、生徒には必ず「大丈夫」などの声掛けを行っていることです。これから夏休みに入ると、家で留守番をして、保護者の代わりにお昼やおやつを買い求める小中学生がいるそうです。ただそこでもお金の使い方にはなるべく注意を払っていることです。



【中央地区 A 班】

★7/14(A班)祇園祭の後の日曜日もあり、声を掛ける(あいさつ)小学生達は心なしか元気がありませんでした。暑さに負けず、元気に登校して欲しい。

【塩尻地区】

★8/11 交通安全協会の方が校門に立っていたり、PTAの方も参加していたので特に問題はありませんでした。地域の方々にもオレンジベストの活動を見ていただける機会にもなった。

【川西地区】

★7/15 浦里小学校正門前で登校してくる児童にあいさつ運動をしました。子供達は元気に「ニーオー」と中國語の挨拶です。聞くところによると何月はどこの国の言葉のあいさつと決めてあるとのこと。次はどこのあいさつの言葉か楽しみです。

【城下地区 B 班】

★10/24(B班)サントミューゼ内で勉強をしている高校生が20名ほど。夜10時まで開いているのでよく利用している人が多いとのこと。スケートボードには人がいなかったが、途中で2人見かけた。これから行くとの事で気をつけるよう話した。サントミューゼ建物の外で、女子高生が2人でダンス練習。その他に広場で3人の学生が遊んでいた。注意するよう声掛けをした。

【豊殿地区】

★6/16 豊殿地域自治センターに集合。打ち合わせ後、当班初となる街頭活動を実施した。大屋交番を訪問し、山岸所長にあいさつを行い交番の担当範囲などを聞いた。セブンイレブン芳田店では、店員に顔見せのあいさつをした。ローソン芳田新町店では店員にあいさつをし、高校生が来店しておりコピー機を利用して声掛けを行った。豊殿小学校では、教頭先生にあいさつを行った。生徒は下校前の様子であった。自治センターに戻り街頭活動終了解散した。

【中塩田地区 A 班】

★7/16 どの店舗でも、店長さんや店員さんに丁寧に対応いただいた。小中学生が何人かまとまって、来店し賑やかになる時もあるが、迷惑になるような事は無く、集団・一人共に買う物を決めて来店し長居することは無いとの事でした。この日も子供だけの来店はありませんでした。文具屋さんでは、最近高価な筆記用具に人気が集まる傾向があり、小遣いの使い方などやや気になるとのお話をおききました。どのお店も防犯カメラの設置、子どもへの声掛けに努めていただいていました。

【東塩田地区】

★4/22・4/25 信号の下は20名程が登校。プール横の校内の方は車の送迎が多く朝は譲り合って上手くやっている様子が見られる。4月で慣れていないせいか、校内のあたりで泣き出してしまった子がいて、落ち着くまで寄り添いました。

【川辺泉田地区 B班】

★6/13 対象に設定した15店舗の内、営業時間が過ぎていた1店を除く14店舗を回った。金曜日の薄暮時という出掛けやすい時間帯だが、親子連れ以外の中学生、高校生だけといったグループは見掛けなかった。酒類売り場や成人向けコーナーも巡回したが、心配になる事案は無かった。子供用品専門店では、低学年児童がランドセルのまま、キャラクターカード(200~700円程度)を買いに来る事があると聞いた。店員が「お母さんは知っているの?」と尋ねても答えないという。お小遣いで楽しみの範囲かもしれないが、ポケモンカードなどが過熱したり高額で売買されるとも言われるので留意したい。複数店舗の共有駐車場で、閉店後にスケートボードをする高校生らしき子供が時々いると聞いた。1人で静かに遊んでいるという。解散時、ビックと綿半の間の県道を大騒音で走る数人のバイク集団がいた。各所を走っているなら取り締まってほしい。

(事務局から) 上記を受け、警察署に問い合わせたところ、「バイク集団を見かけ危険を感じたら、無理をせずすぐに警察署へ電話してほしい」とのことでのB班へご連絡しました。

【塩川地区】

★11/22 丸子かわまち公園には、親子や成人がいたが、子どもの集団や子供単独で過ごす者はいなかつた。セブンイレブンで問題はおきていないようだつた。小学校にも子供はいなかつた。大屋駅では20名ほど高校生が降車したが自転車で帰る者は無く、殆ど親の迎えの車で帰つて行った。移動途中に交差点で高校生を見かけたが、ヘルメットをした姿で自転車を決まり通り使用していた。

【傍陽地区】

★9/8・9/9 ・半数近くの子供達が家庭の送迎で、隣接した空き地に駐車していた。やはり多く感じられた。・挨拶はほぼ出来ていたが、声が小さめの子供が多くいた。委員のあいさつに返答できない子も数人いた。大人とあいさつすることに慣れてないようと思えたので、こちらから明るく挨拶をする事が大切だと思った。・学校近くの横断歩道では、安全面の問題はなかった。

【神川地区 A・B班】

★7/22 今回は、神川小学校併設の神川児童クラブを訪問しました。最初はスタッフ・ボランティアの方々とお話をしました・1年生から6年生まで総勢約120名の児童が利用しているそうです。帰宅時間はまちまちで5時頃から7時頃に保護者が迎えに来るそうです。午後3時を過ぎると続々と子どもたちが来ました。「こんなにちは」と声を掛けると「こんなにちは」「だれ?」と返事が返ってきました。「ただいま」「おかえり」とあいさつをかわし、教室に入っていくのが印象的でした。子ども達に時間の過ごし方を聞くと「宿題」「読書」「体育館でスポーツ」と元気よく答えてくれました。ただ人数のわりに本館・分館とも狭く感じました。

【内村地区・丸子中央地区 A・B班】

★11/4~7 10/29(水)に丸子公民館から連絡があり、丸子中央小学校の周辺で不審者(※注)の目撃情報があったとのことで、丸子中央小学校より児童・生徒の下校時間帯に、見守り委員による毎日の特別巡回の要請があつたため、11/4(火)から、丸子中央区A班B班、内村区内村班の9名で当番を決めて対応を開始しました。初日(11/4)に小学校の先生にあいさつをし、巡回を始めたことをお伝えしました。また、警察官も今回の件で見回りしており、見守り委員の活動を認知していただくことができました。今週(11/4-7)は、不審者目撃等の異常はありませんでした。

(※注)…望遠カメラ等による児童の無断撮影

(事務局から) 事務局では10月30日(木)に丸子中央小学校を訪問し、教頭先生から状況を伺い、低学年児童の下校に同行しました。

【武石地区】

★7/27 武石地域青少年健全育成事業の「魚のかみ取りと炭火焼」にスタッフとして参加した。主に川付近での安全確認・巡回・声掛けを実施、魚を焼きながら子供に声掛けをしていたが、自然の中で魚取りに夢中になって楽しそうだった、特に低学年の児童が川での遊びは大人と一緒にないと危険な所もあるが、他地区の子ども同士で交流できる良いイベントだったと思う。

